

令和7年度第2回島牧村地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 令和7年5月21日(水) 14:00～

場 所 島牧村役場2階大会議室（又はWEB参加）

出席者 別添委員会名簿のとおり

概 要 以下のとおり

1. 開 会

2. 会長挨拶

- ・中山総務経済部長より挨拶。

3. 議事

◆報告事項

(1) 令和6年度島牧村地域公共計画推進業務【報告】について

報告書は、既に各委員へ配布済みです。

【NDS 中野】報告書により説明。

質疑応答：

【中山会長】代替交通の検討を行うことが今後、重要な視点かと思うが、その1は定時路線、その2はデマンドとなっているが、現行の交通体系との連携を想定すると、異なるモビリティを検討することも想定され、法的な変更なども踏まえると、さらなる検討を行う必要があると考えているが、その考えを教えてほしい。

【NDS 中野】リソースを含め、実現可能なモビリティを構築する必要がある。構築後の維持に向け、国補助などを有効活用し、島牧村の持ち出しをなるべく少なくなるように検討を進めたい。

【中山会長】運行計画を検討する上では、具体的な検討を進める必要があり、早い段階でお示しいただきたい。

◆議案

(1) 寿都診療所行き患者輸送バスの運行について

【福祉課長】添付資料により、運行理由、経緯について説明。

質疑応答：

【林 委 員】利用者の想定として、どの程度を見込んでいるのか。

【福祉課長】利用者数をどの程度になるのかを含めて、検証などを進めたい。

【林 委 員】マイクロバスを利用するくらいの人数となるのか。

島牧ハイヤーとしてもハイヤー助成券を制度化して頂いた関係で、寿都診療所までの利用者が多い。

【福祉課長】利用者数がどの程度になるのか、不明。

20人などになるなどは想定していない。

【中山会長】各停留所からの利用か。

【福祉課長】そのような利用を想定している。

【田中委員】人数は、現状、島牧診療所の利用者数と寿都診療所に行っている人数を

合計すると一致するのではないか。

- 【福祉課長】ハイヤー利用は自宅から利用のため、なんとも言えない。
利用者全体として、バスを利用しているとも想定していない。
- 【中山会長】まずは実験をしてみたいと考えている。
- 【門間委員】無料のバスを一度実施してしまうと、利用者数が確保できないことを理由に廃止とすることは難しいと考えている。期間限定か。
- 【福祉課長】今年度、実施できる内容から始めたい。
診療所の状況を見据え、継続的に実施するか検討したい。
- 【門間委員】当初から実証実験として位置付けた方が良くと思う。
制度上の関係ではないため、最終的には役場で決定をして頂きたい。
- 【齊藤委員】定期的に休診日となっているが、どの曜日なのか。
- 【福祉課長】隔週で月曜と火曜が休診。
- 【齊藤委員】運行時間は確定か。
- 【福祉課長】今後の検討内容のため、例としての提示である。
- 【齊藤委員】今後、受入側の診療所や寿都町と調整を行うと考えてよろしいか。
- 【福祉課長】その通り。
- 【後志振興局】利用には予約は必要なのか。
- 【福祉課長】予約は不要であり、定時定路線を想定している。
- 【後志振興局】運行していく上では、経費が必要であり、利用者がいない場合にも運行されるとなると、不要な経費が発生するため、まずは実証として運行させるのが良いと思う。
- 【林 委 員】運行時間は、仮で設定しているが、帰宅時間が12時を超える場合が現状でも発生している。帰宅交通の対応はどのように想定しているのか。
- 【福祉課長】利用者全員の診療が終了し次第、出発することを想定している。

※. 福祉課で検討を進めることで合意いたしました。

4. その他

- 【中山会長】支局長が来庁された際、ライドシェアの説明があったが、全体に共有をして頂きたい。
- 【門間委員】日本版ライドシェアに関する説明を実施。
タクシー会社管理の元で運行する。

5. 閉会